

犯罪情報 5月11日～5月17日

1 特殊詐欺（オレオレ詐欺）被害の発生について

(1) 被害額

650万円

(2) 事案の概要

Aさん宅の固定電話に、男の声で「俺だけど」などと電話があり、Aさんは、息子と信じて会話を続けた。男から「5年前にやっていた仮想通貨で1,800万円儲けたが、未納の税金が630万円あり、その未納金を払わなくてはならない。」「未納金の630万円については、消費者金融で借りようと思っているが、現在自分の口座が凍結されているため、支払いの手続きができない。」などと言われた。

Aさんは、息子を名乗る男から指示されるまま現金を準備すると、650万円を指定された住所地へ宅配便で送付した。

現金送付後、息子を名乗る男から「荷物が届いたよ。また電話するから。」などとの電話を最後に、息子を名乗る男からの連絡が途絶えたことから、息子と連絡を取ったことにより、詐欺被害に気付いたもの。

2 特殊詐欺（ニセ警察詐欺）被害の発生について ～ケース1～

(1) 被害額

397万円

(2) 事案の概要

Bさんの携帯電話に総務省職員を名乗る男から電話があり、「あなた名義の電話番号から迷惑電話が架かっており、この番号は静岡県内で契約されている。事件に巻き込まれている可能性があるため静岡中央警察署に伝えて対処してもらってください」などと言われ、静岡中央警察署を名乗る男に電話が代わった。

静岡中央警察署を名乗る男から「LINEで連絡を取るためにIDの追加をしてほしい」などと言われ、指示されたIDを追加したところ、静岡中央警察署を名乗る男からLINEのビデオ通話があり、「事件については、口座を5万円で売った者に対し、報酬として680万円を支払っているマネーロンダリング事件である。静岡県まで出頭するか、できなければ逮捕することになる」、「自分で事件のことを調べたり、友人に話したりすれば、その友人も逮捕することになる」などと言われた。

さらに、Bさんは翌日も静岡中央警察署を名乗る男とビデオ通話をする中で、「逮捕状」などと言われた書類を見せられ、検察官を名乗る男に電話が代わった。

検察官を名乗る男から通信アプリ「Signal」をインストールするよう指示され、Signalで連絡したところ、「事件の潔白を証明するため、保有口座について、証拠として提出してもらい必要がある」、「指定する金融庁の口座へ送金してほしい」などと言われ、Bさんは、金融機関のATMから、指定された口座に5回にわたり合計397万円を振り込んだ。

その後、Bさんが静岡県警察に電話したことで、詐欺被害が判明したもの。

3 特殊詐欺（ニセ警察詐欺）被害の発生について ～ケース2～

(1) 被害額

690万円

(2) 事案の概要

Cさんの自宅固定電話に着信があり、警視庁警察官を名乗る男から、「銀行から400万円を引き出したか」などと言われた。Cさんが「やっていない」と答えると、男から、「うそをついたら逮捕状が出ているので、あなたを引っ張ることができる。証拠がある。通帳を全部出しなさい」などと言われた。

Cさんは、男から言われたとおりに通帳を準備し、個人情報をも男に伝えたところ、「上司に逮捕しなくてもいいように頼んであげる。ヤクザがあなたのお金を引き出そうとしている。お金を守ってあげる。毎日お金を下ろし、出金したお金は保管しておいて」などと言われたほか、電話での定期連絡を入れるよう指示を受けた。

Cさんは男の指示どおり、複数回にわたり、現金を出金し自宅に保管した。男と連絡をする中で「警部達が守ってくれるから言うことを聞いてほしい。全部のお金を袋の中に入れて」などと指示された。

Cさんは、指示されるがまま、現金を袋に入れて準備したところで、男から「外に出て、現金を置いて」などと言われ、自宅敷地内の指定された場所に現金を置いた。

その後、男から、「家に入って戸を閉めて、トイレに行って」などと言われ、Cさんはトイレに行った後、外に出て現金を確認すると、現金が既になくなっていました。

その後Cさんは、詐欺の被害に遭ったのではないかと不安になり、警察に相談し詐欺被害に気付いたもの。

4 特殊詐欺（還付金詐欺）被害の発生について

(1) 被害額

149万5,000円

(2) 事案の概要

Dさん宅の固定電話に音声ダイヤルで電話があり、「年金機構です。」「お客様の年金が停止されます。」「サポートセンターにつなげる場合は1を押してください。」とガイダンスが流れたことから、1をダイヤルすると、Nを名乗る男が対応した。Nを名乗る男は、「源泉徴収を返金したい。年金のハガキを送ったはずだが、ハガキの返信がないので返金手続きができない。」などと言われたほか、普段使用している金融機関を聞かれ、Dさんが金融機関を伝えたところ、担当者から電話をさせると言われた。

その後、Dさんが使用している金融機関のIを名乗る男から電話が掛かり「年金機構からの連絡があって電話をした。ATMで返金手続きができる。」などと言われ携帯電話の番号を聞かれた。

Dさんが、金融機関のATMに行くと、携帯電話に「+」から始まる電話番号から着信があり、電話に出るとIであり、指示されるままATMを2回操作したところ、「手続きに失敗した。別の口座を持っているか。」と聞かれ、Dさんが答えると、近くにある別のATMに行くように指示された。Dさんが、指示されたATMに行くと再びIから電話があり、指示されるままATMを操作したところ、「入金確認をしてから再度連絡します。」と言われ電話を切られた。

その後、Dさんが不審に思い、家族に相談したところ、詐欺被害を指摘された。Dさんが、取引明細書を確認すると、他人名義の口座に3回にわたり合計149万5,000円を振り込んでいたことが判明したものの。

5 特殊詐欺（SNS型投資詐欺）被害の発生について

